

群馬工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	メディアリテラシ	
科目基礎情報							
科目番号		2E003		科目区分		専門 / 必修	
授業形態		授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		電子メディア工学科		対象学年		2	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		LaTeX2ε美文書作成入門:奥村晴彦、黒木 裕介:技術評論社:9784297117122, セ`ロからわかるUNIX基礎講座:中井 猷:技術評論社:9784774139807					
担当教員		布施川 秀紀					
到達目標							
☐ 1.pLaTeXを使って文書を作成することができる。 ☐ 2.Gnuplotを使って、グラフを描くことができる。 ☐ 3.Power Platformを使って、処理の自動化を作ることができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		pLaTeXを使って論文等大規模な文書を作成することができる。		pLaTeXを使って簡単な文書を作成することができる。		pLaTeXを使って文書を作成することができない。	
評価項目2		Gnuplotを使って、自由にグラフを描くことができる。		Gnuplotを使って、簡単な数式のグラフを描くことができる。		Gnuplotを使って、グラフを描くことができない。	
評価項目3		Power Platformを使って、自由にソフトウェアを作ることができる。		Power Platformを使って、簡単なソフトウェアを作ることができる。		Power Platformを使って、ソフトウェアを作ることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		1年次に習得したコンピ`ユータの基本的な使い方をさらに発展させ、より高度なド`キュメント作成、情報伝達、情報発信を行う能力を身につける。 LaTeX や Gnuplot等を利用したド`キュメントの作成方法を学ぶ`。 Power automateの使用法を学ぶ`。また、この科目は3年次以降に学習するフ`ロク`ラミング`等につな`がる。					
授業の進め方・方法		教科書、自作Webテキスト等を使い、PC画面上で操作方法を解説し、その後実習を行う。					
注意点							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	UNIXの基本コマンド` 1		1年次に学習したUNIXの基本コマンド` を使うことができる。		
		2週	UNIXの基本コマンド` 2		1年次に学習したUNIXの基本コマンド` を使うことができる。		
		3週	LaTeXの使い方1		LaTeXで簡単な文書作することができる。		
		4週	LaTeXの使い方2		LaTeXで基本的な環境を使うことができる。		
		5週	LaTeXの使い方3		LaTeXでよく使われる数式を書くことができる。		
		6週	LaTeXの使い方4		LaTeXで表や図を使うことができる。		
		7週	Gnuplotの使い方1		Gnuplotで簡単な関数を描くことができる。		
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	Gnuplotの使い方2		Gnuplotで複雑な関数を描くことができる。		
		10週	Gnuplotの使い方3		Gnuplotでより複雑な関数を描くことができる。		
		11週	Formsの使い方		Formsを使ってアンケートを作成することができる。		
		12週	Power Platformの使い方1		Power Platformを使ってソフトウェアを作成することができる。		
		13週	Power Platformの使い方2		Power Platformを使ってソフトウェアを作成する事ができる。		
		14週	Power Platformの使い方3		Power Platformを使ってソフトウェアを作成する事ができる。		
		15週	期末試験				
		16週	答案返却		期末試験の解説		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。		3	
				論理演算と進数変換の仕組みを用いて基本的な演算ができる。		3	
				コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を活用できる。		3	
				情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。		3	
				同一の問題に対し、それを解決できる複数のアルゴリズムが存在しうることを知っている。		1	
				与えられた基本的な問題を解くための適切なアルゴリズムを構築することができる。		1	

				任意のプログラミング言語を用いて、構築したアルゴリズムを実装できる。	1	
				情報セキュリティの必要性および守るべき情報を認識している。	3	
				個人情報とプライバシー保護の考え方についての基本的な配慮ができる。	3	
				インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威を認識している	3	
				インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威に対して実践すべき対策を説明できる。	3	
専門的能力	分野別の専門工学	情報系分野	プログラミング	与えられた問題に対して、それを解決するためのソースプログラムを記述できる。	3	

評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
pLaTeX	30	20	0	0	0	0	50
Gnuplot	10	10	0	0	0	0	20
Power Platform	20	10	0	0	0	0	30